

イタリア・バリ地方で 800 年余も続く名家の生まれながら、京都大に留学したのがきっかけで日本に居残って「船場商法を学んでいる」という変わりダネ。初めは日伊友好が第一だったのが、最近ではイタリアワインなどの輸入が好調で、この不景気でも急成長中だ。「お客のニーズを素早く感じ取って、売れる商品を輸入しているだけ。大阪では当然の商法ですやん」と、大阪弁も根について。

世界に飛び込んだのです。

●大阪商社の行動が参考

—それで大阪に来たの？

ドメニコ社長 良きパートナーに恵まれ、商部・大阪に来ました。特に参考にしたのは大阪の繊維産業から発展した総合商社。需要をよく見て、情報の提供元として機能していました。でも、経済の高度成長が続き過ぎて、日本メーカーの生産力が高まったら、日本人は市場動向に關係なく、新商品を次々に発売。当初はそれが目新しい機能を持っていたので売れましたが、だんだん市場のニーズから離れたのです。一方、総合商社も自先の利益を追う投資機関に姿身していました。そのままだまバブルに突入です。欧州の慎重な投資行動を見ていた私には危ない動きに思えました。

●勤勉な日本人へ

—バブル当時の行動は？

ドメニコ社長 日本は投機には便利な国で、時差の分だけ早く行動出来ます。でも、強気になり過ぎました。実は、私は1988年に手持ちの不動産を全部売却しました。当時は土地の価格も株価も、それがもたらす利益に比べて高過ぎると思っただけです。常務人なら、その会社の決算書を見れば株価が異常な高さだと分かったはずですが、銀行員ですら決算書を読まずに、ただその時の雰囲気だけで「土地を買いなさい、買金は賤しみますよ」とでしょう。それが今日まで続いて、不良債権にな

### 好調なイタリア商品輸入卸商

●明治期来日した大祖父

—なんで日本に？

ドメニコ社長 カンタトリー家は爵位もあつた旧家。大祖父は明治初期、日本に教育制度の指導に来たことがあり、鋸や杵を持ち帰っていて、私はこれをもちぎにしていまして、大学を卒業し、弁護士になったのですが、大祖父のこともあり、日本に留学を決めました。父に告白したら、マニションを買ってくれと言ったので、そのお金でフェラーリを買ひ、日本に来ました。これが京都大でも評判になり、友人も出来て、自気道や拳法を学ぶなど、楽しい留学生活でした。卒業後は商社のエージェンツで生活して、京都・太秦の映画村で外国人役も経験。英会話教室を開いたら当たったのですが、マンネリになるのが嫌で、ビジネスの

メロス社長

ドメニコ・カンタトリーさん (56)



★生年月日 1942年9月6日★出身地 イタリア・バリ市★出身校 京都クラ科大学院経済研究科修了★趣味 シックカーレース、ダイビングなど海洋レジャー全般、盆栽づくり、和人形の収集★信条 「洋魂和才」

横顔

## 「洋魂和才」市場よく見る船場商法「当然ですやん」

つていますが、欧米だったら誰か買えられまよ。私がおこられた、「まじめで勤勉な日本人はここにいったのでしょ。」

●ワイン、バスタ当てる

—現在の成長の秘けつは？

ドメニコ社長 今年ようやく年商15億円に達したばかり。この船場では常識的なやり方、つまり市場動向には逆らわず、今売れる商品だけを輸入しているだけです。さらに、私がもつけるのと同様、相手もわかるようにすること。一方通行だと一回で終わります。継続のために相手の立場に立つことが大切。ファッションの輸入では世界的なトレンドを紹介し、それでお客がついてからが仕事です。イタリア製品で言えば、ブームを誘うこと。90年代後半のスーパーカーブームからカジュアルファッションへ、そしてイタリア料理。バブルがはじけても「イタリア」の味が忘れられない人は、自毛でワインやバスタを愛しむだろうと考え、食品輸入を始め、当たりました。もっともパートナーは、スリッパから1着20万円ほどの売り上げなのに、なんで1袋10000円のバスタを売らねばならぬかと、不満のようでした。

●もっと日伊民間交流を

—今後の日伊貿易は？

ドメニコ社長 日本人とイタリア人はよく似ています。イタリア人は世間で言われるほど奔放ではなく、宗教のワケに規制されています。日本人には社会の目というフレームがあるんですよ。お互い、こうしたフレームが覆み、新しいモラルや秩序を求めている時なのでしょう。そんな両国民が、商部だけでなく、ライフスタイルや文化の交流を通じて、お互いの良いところを見つけて合う関係が、いやいや作られるべきだと思います。16年前からイタリアレストランを経営していますが、ここで育った日本人シェフが国内各地で店を持つなど、民間レベルの交流も心掛けています。今後、日本の皆さんが必要とする品をどんどん輸入し、イタリア人の心を分かってもらいたい。日本人が和魂洋才と言うように、私はイタリア人の親を持って、和の才能を学びたいのです。

燃えて  
います

メ モ

◆本社 〒542-0008  
1 大阪市中央区南船場2の  
7の16 同光ビル ☎06・2  
64・5151◆沿革 19  
70年有限会社で設立、82年

イタリアンレストラン開業、  
83年株式会社◆扱品目 イ  
タリア食材、ワイン、婦人服  
などファッション商品◆従業員  
43人◆年商 15億円。